

○事業所名	くれよん		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	資格や十分な実務経験を持った職員を、利用人数に対しても十分に配置し、支援を行っています。	心理士による専門的な支援や、元教師による学習支援、経験豊富な保育士による直接支援。	
2	子どもたちとエコバッグ製作に取り組む。	卒業後の就労に向けた取り組みとして、集団や個別で取り組んでいます。	完成したものは地域の就労継続支援B型事業所で使っていただいています。
3	運営管理ソフトやLINEなどを使用し、その日のお子様の様子や活動の報告を写真入りで行ったり、保護者様からの連絡にすぐ対応出来るようにしています。	朝礼・昼礼・夕礼を行い、支援内容や子どもたちの様子など職員間で常に情報共有し、伝達の漏れが無いようにしています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流やきょうだい同士での交流、地域の他の子どもと活動する機会が依然行えていないこと。	くれよんカフェなど行っているお仕事をされている保護者様も多く、なかなか皆さんに参加していただけていないこと。	くれよんカフェの内容などを決めたり、保護者様にアンケートを取るなど行っています。
2			
3			